



富士山世界文化遺産

登録10周年を契機とした取組



10周年記念動画はこちら！

2023年6月22日、富士山が世界文化遺産への登録が決定してから10年の節目の日を迎えました。本年は年間を通じて、改めて富士山への理解と関心を深め、その魅力や価値を国内外に発信していきます。



当日は、東京国際フォーラムにおいて静岡県、山梨県、富士山世界文化遺産協議会の共催で記念式典を開催しました。式典には、国会議員や静岡・山梨両県関係者、一般公募客約350人が出席し、登録10周年をお祝いしました。

静岡・山梨県の両県知事が、「富士山の普遍的価値を守り伝えながら地域の発展を目指す」との富士山世界文化遺産登録10周年共同宣言に署名しました。

また、会場では、登録10周年を記念して作成した7分間の記念動画を公開すると



登録10周年記念式典の様子

ともに、基調講演や専門家を招いてのパネルディスカッションを行いました。

NEWS × COLUMN × REPORT



富士山世界遺産登録10周年記念国際シンポジウム

また、7月1日から2日にかけて、富士山世界遺産センターにおいて、静岡県市文化会館ロゼシアターにおいて、静岡県富士山世界遺産センターの主催で、「世界の聖なる山と富士山」と題して国際シンポジウムを開催しました。シンポジウムでは、富士山のほか、世界遺産に登録されているイタリア、ニュージーランド及び中国の聖なる山々について、研究者等による講演とパネルディスカッションを行いました。



国際シンポジウムの様子



三霊山学術フォーラム・学生連携事業

11月23日には、日本三霊山と呼ばれる立山・白山・富士山の信仰について、歴史・伝承をひも解く「三霊山学術フォーラム」を開催しました。

これを契機とし、富山県・石川県・静岡県が連携し、三霊山研究を深化させていただきます。

また、大学生等が主体となった発信事業を展開し、世界遺産富士山の顕著な普遍的価値の若年層への啓発を促進していきます。



多くの学生に協力いただきました